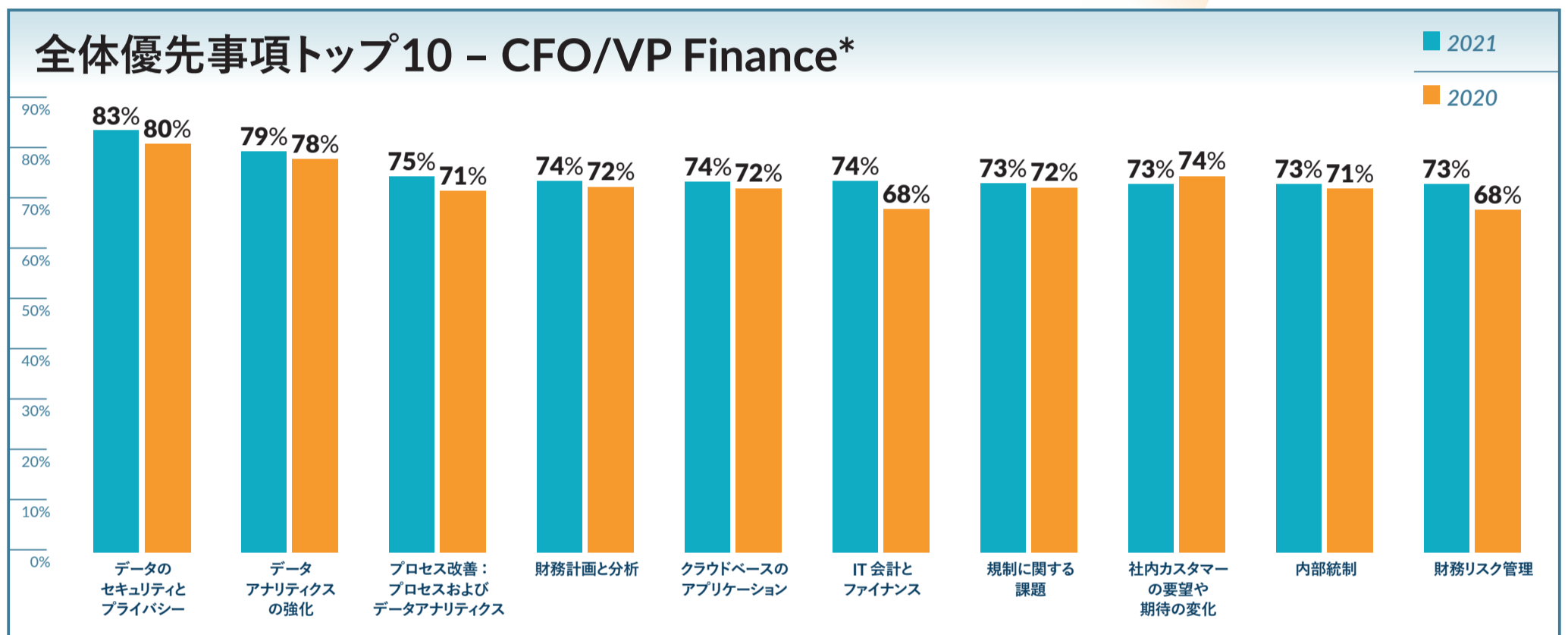
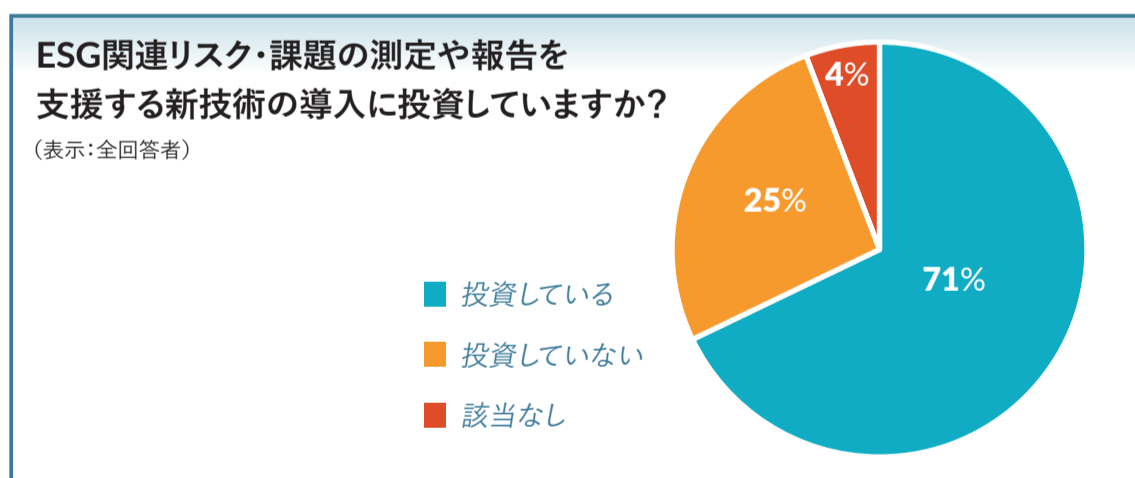


# 財務上の優先事項は、セキュリティ、データ、分析、オートメーション、柔軟なワークモデル、ESGによって決定されます。

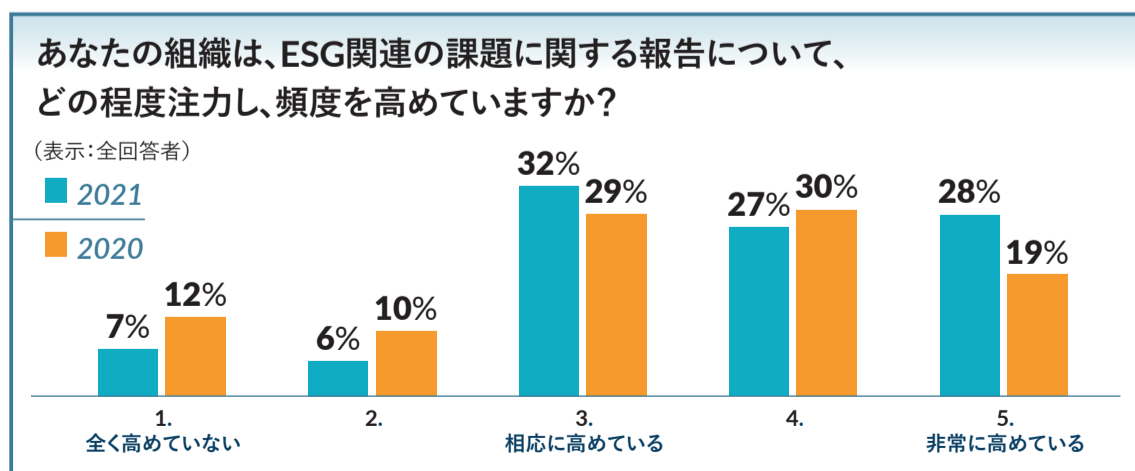
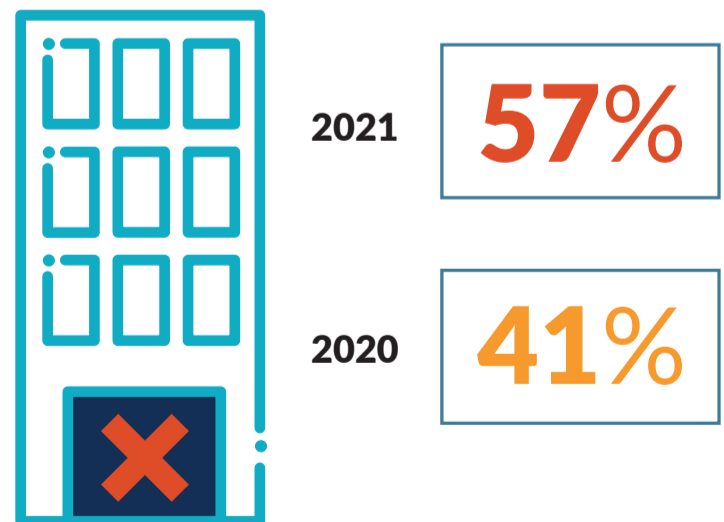
世界的なパンデミックは、デジタル化やリモートワークといった従来からのビジネストレンドを加速させました。このことにより、CFOは、自社における財務改革の進捗を恐ろしいほど正確に判断することができるようになりました。さらには、経理・財務部門のリーダーに、すぐに実行すべき改善計画を検討する貴重な機会を提供することにもなりました。この点において、プロティビティの最新のグローバル・ファイナンス・トレンド・サーベイが示唆しているポイントは明確です。世界、ビジネス、そして企業の経理・財務部門は新しい時代に突入し、もはや後戻りはできないのです。



\* 今回の調査では、回答者に対し、経理・財務部門としての知識や能力を今後12ヶ月間に向上させるための優先度を、46の異なる項目について10点満点で評価するように依頼しました（「1」が最も低い優先度、「10」が最も高い優先度を示します）。ランキングは、これらの項目を「8」以上と評価した回答者の割合に基づいています。



オフィスのロックダウンや、サードパーティサービス提供者の業務停止による混乱や遅延に対し、マネージドサービスやビジネスプロセスアウトソーシングを利用して対処した企業



詳細については、プロティビティの調査レポート「Security, Data, Analytics, Automation, Flexible Work Models and ESG Define Finance Priorities」([www.protiviti.com/financesurvey](http://www.protiviti.com/financesurvey))をご覧ください。